

2018 年第 6 回 ころ研究会

日時：2018 年 10 月 24 日（水）17：00-19：00

場所：京都大学稲盛財団記念館 3 階小会議室 I

講師：内田由紀子（京都大学ころの未来研究センター・准教授，専門領域：社会心理学・文化心理学）

講演タイトル：「日本社会における生き方と自己：組織従業者の生理・心理調査からの考察」

講演概要： 自己のあり方には共通性もあれば、個人や社会のあり方によって異なる部分も存在する。文化心理学の研究は、国際比較で実施された実験や調査の結果から、自己に関する心理機能に一定程度の文化差があることを見出してきた。日本社会においては北米などの社会と比較すると、様々な場面において他者や状況にあわせて自らの行動や感情を調整し、制御することが知られている。とりわけ、所属する組織における社会関係は重要な要素であり、そこに共有されている「価値」にそった振る舞いが求められることがあるが、実際にそのことが適応状態を促進しているのかを実証的に検討することが重要である。そこで、本講演では企業コミュニティがもつ社会関係、個人の文化的価値観、パーソナリティ特性のそれぞれが、主観的幸福や遺伝子転写反応（CTRA）にどのような影響を与えるのかを検討した研究について述べ、自己と文化の関係性について検討する。

ご参加いただける場合は、参加のご連絡を下記アドレス（事務局担当：梅村）までいただきたくお願い申し上げます。

umemura.kotaro.5u@kyoto-u.ac.jp

どうぞよろしく願いいたします。

京都大学ころの未来研究センター
畑中 千紘